

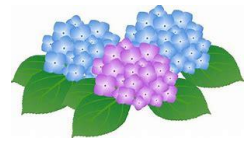
大名美恵子です

東海村村松 2401-2

電話・FAX 284-0761

E-mail toukai@oona-mieko.info

6月議会は3日からです



❁一般質問は、11、12、13日の3日間、13議員が行います。

11日（火）10時からの質問者

- 1 番目 村上 孝議員
- 2 番目 吉田充宏議員
- 3 番目 大名美恵子
- 4 番目 恵利いつ議員
- 5 番目 舛井文夫議員

12日（水）10時からの質問者

- 1 番目 植木伸寿議員
- 2 番目 岡崎 悟議員
- 3 番目 武部慎一議員
- 4 番目 阿部功志議員
- 5 番目 笹嶋士郎議員

13日（木）10時からの質問者

- 1 番目 清宮壽子議員
- 2 番目 寺門定範議員
- 3 番目 越智辰哉議員

大名美恵子の通告した一般質問項目は、次のとおりです。

- 1 点目 保育所・幼稚園、及び学校生活における安全確保について
- 2 点目 ゴミ分別収集の現状について
- 3 点目 国保税の負担軽減策について
- 4 点目 改正「水道法」の本村への影響について
- 5 点目 東海第二原発の再稼働表明への対応について

生き続けられない子どもたちが増えている日本！ 社会が病んでいる？

保育所や幼稚園、学校などでの生活が、子どもたちにとって、必ずしも安全とばかりは言えない状況があることは、大分前から知らされてきました。対応としては、東海村だけではどうにもならない面もあり、本当に深刻な課題です。

何より、命を大切に、未来に希望を持って生きていける社会づくりを、ここ東海村からすすめていかなければと考えます。

障害者雇用 離職者の割合増加 水増し発覚後に5%超

中央省庁での障害者雇用率の水増し問題の発覚を受け、各府省で2018年10月23日から19年4月1日までに採用した障害者2518人のうち、5月23日時点の離職者数が131人にのぼり、5%を超えていることがわかりました。厚生労働省が明らかにしました。

定着率は94.8%。障害者求人により民間企業に就職した人の職場定着率(2カ月後で91%)に比べれば高いとはいえ、障害者が働き続けられるための支援を率先して行うべき国の役割と責任に照らして大きな課題を抱えています。日本共産党は国会で高橋千鶴子衆院議員や倉林明子参院議員らが国に定着支援を求めてきました。

厚労省によると、819人を採用して79人が離職した国税庁のように多数の障害者を採用し多数の離職者が生じた機関や、金融庁や内閣官房など離職割合が1割を超えた機関もみられました。(表)

こうした結果を踏まえ、厚労省では離職者が多かった機関の障害者の離職理由を具体的に把握し、支援策を検討・提案します。さらに出先機関に対する労働局・ハローワークによる訪問指導などの実施、6月1日時点の雇用状況報告にあわせた特別調査の実施などを進めるとしています。

採用した障害者の離職が1割超 または相当数の政府機関

	採用者数	離職者数	定着率
観光庁	8人	2人	75.0%
金融庁	12人	2人	83.3%
内閣官房	20人	3人	85.0%
文部科学省	14人	2人	85.7%
国税庁	819人	79人	90.4%

※採用者数＝2018年10月23日～19年4月1日の採用者数

※離職者数＝19年5月23日現在の離職者数